



「広がる交流」「深まる学び」 ～K S（拡大集合）学習～

6月6日～6月8日の間、高学年が安下庄小学校で「KS学習」（一部の日程は久賀小も含む「SKS学習」）を行いました。算数や国語では、複式を解消しての学年ごとの授業で、多様な考えや意見に触れることにより学びが深まりました。また、外国語や体育では、いつもの倍以上人数で交流を深めたり、競いあったりすることができていました。



外国語の授業



久賀小を交えての宿泊学習打ち合わせ

さて、周防大島町内は、半数以上の学校が複式学級を抱える小規模校です。小規模の学校では「一人一人に対してきめ細かい指導ができる」「異学年での交流ができる」というメリットがありますが、「人間関係が固定化される」や「(体育の集団の種目など) 制約のある学習がある」ことなどがあります。これを解決する手段のひとつがKS学習です。また、このKS学習には「中1ギャップ」(中学校での新しい環境になじめずに学習への

不適應やいじめ、不登校などの問題が表出すること) 対策の面もあります。具体的には

- ・小学校のうちから交流をすることで、中学校での新しい人間関係に備える
- ・他校の小学校の教員の授業をうけることで、「教科担任制」になれる

などがあります。

ソーシャルスキルを身につけることの大切さ

本校では、素直でわかりやすく行動的であるという長所をもった児童が多い反面、「折れ合う」ことや、「人の気持ちを想像する」ことが苦手な児童が少なくありません。道徳などの「心の教育」とともに、様々な生活場面で、どんな行動をとれば集団の中でうまくやっていけるか小学校のうちから「ソーシャルスキル」を意識して身につけておく必要があります。

中でも、「あいさつ」は子どもたちに身につけてほしい一番のソーシャルスキルです。先日のなかよし朝会ではあいさつの3つのステージを紹介しました。

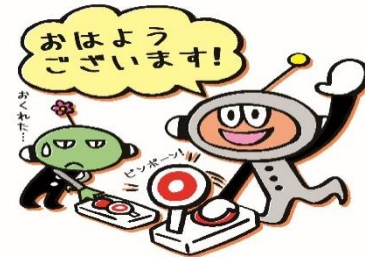
ステージⅠ

「だれでもあいさつ」



ステージⅡ

「はやおしあいさつ」



ステージⅢ

「セレクトあいさつ」



子ども・クラスが変わるソーシャルスキルポスター (東洋館出版社)

困ったときは



を出せる子どもに!

近年、子どもを取り巻く環境は大きく変化し、「いじめ」「ヤングケアラー」「自殺」「不審者」など多くの課題が浮き彫りにされています。大人が子どもに寄り添い、子どもの声をしっかりきいたり、安心安全な環境を整えたりすることも重要ですが、同時に子ども自身が「自分は困っている」「助けてほしい」とSOSを出すことの大切さも言われています。6月は、子どもたちの安心安全に関する様々な取組を行っていますので紹介します。

不審者対応



6月1日、不審者対応避難訓練を行いました。不審者が校舎内に侵入してきたという想定のもと、全校児童があらかじめ決められている避難場所に避難しました。教員は、警察への通報訓練、また、自身の安全を確保しながら不審者が児童の避難場所に近づかないようにする訓練をしました。避難訓練後には、DVDを視聴し、実際に不審者に遭遇したときの対応の仕方を学びました。



不審者の出で立ちで指導をしてくださる
柳井警察署生活安全課の署員



ストレス対応

昨年度に引き続き、SC（スクールカウンセラー）の名村先生から「SOSの出し方」に関する授業を受けました。5・6年生は、絵本から、さまざまな感情を「共有することの」の大切さを学びました。3・4年生は、「心の調子が悪くなったとき」の対策方法や、一人がかかえこまず、「信頼できる人・親しい人」に相談することが問題解決の糸口であることを教わりました。また、相談された人は、気持ちに寄り添い、まずはじっくり話を聞くことが大切であることも学びました。児童は、自分のストレスがたまる場面を思い出し、納得した様子で名村先生の授業を受けていました。



おなじみとなった名村先生の授業

SCの名村先生の話では、子どもたちが「自分自身で命を守ろう」とするには、自分自身が大切だと思える「自尊感情」が必要だそうです。その「自尊感情」は、家族や友だち、周りの人たちとの「共有体験」によって培われるそうです。子どもたちの話にしっかり耳を傾け、子どもたちのSOSに気づける大人でありたいものです。

また、地域の安全については、日頃から多くの方々に見守りをいただいています。今後も子どもにとって「信頼できる地域の大人」の方が増えるよう、学校としても挨拶や地域とのふれあいを充実させていきたいと思えます。



鼓童公演



鼓童は和太鼓のプロ集団です。

7月7日(金) 10:00~11:00 場所: 東和小学校体育館

東和小学校、浮島小学校、島中小学校の児童が演奏を聴く予定です。保護者の方や地域の方の参加も可能だということです。なお、7月9日(日)には、橘総合センターでも公演があるそうです。本物の響きが楽しみです。